

順調なイシガレイの成長

■イシガレイの成長は順調

全長(cm)	4.5	5.0	5.5	6.0	6.5	7.0	7.5	8.0	8.5	9.0	9.5	10.0	平均 (cm)
(匹)	0	1	1	1	2	2	2	5	0	0	1	0	7.2

今回の調査は6月20日（土）～22日（月）に雨が降り続いた後であったが、潮が引いた時間に合わせたため問題なく実施することができた。今回イシガレイを採集できたのは導流堤の水門付近七北田川側のみで、潟湖内と七北田川河口域では採集することができなかった。河口では、雨の影響で増水した際にイシガレイが深場へ移動した可能性が考えられる。河口にはウシガエルの幼生（おたまじゃくし）が漂着しており、かなり増水したことが推察された。

採集したイシガレイ（Fig.1, 2）の全長・採集数はTable.1のとおりである。今回の調査でも、水門付近七北田川側の底質はイシガレイが好む砂地で、泥の堆積は見られなかった。平均全長は7.2cmでこれまでの調査データの範囲内であり、順調に成長していると考えられる。通常のカレイとは逆で、目が左側にあるヌマガレイとの交雑個体と思われる個体を6匹採集したが、これはTable.1のデータに入っていない。

Table.1 導流堤水門付近七北田川側で採集したイシガレイの全長と採集数

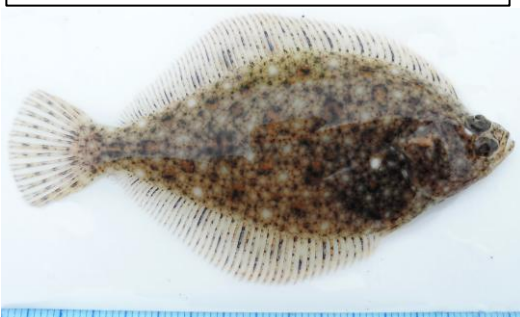


Fig.1 イシガレイ



Fig.2 採集した全てのイシガレイ

■ハマガニ、スナガニの確認

今回の調査でもスナガニ（Fig.3）ハマガニ（Fig.4）の生息を確認した。どちらも警戒心が強く、観察には時間を要したがハマガニが争う様子を観察することができた。



Fig.3 スナガニ



Fig.4 ハマガニ（3匹）

（佐藤 賢治）